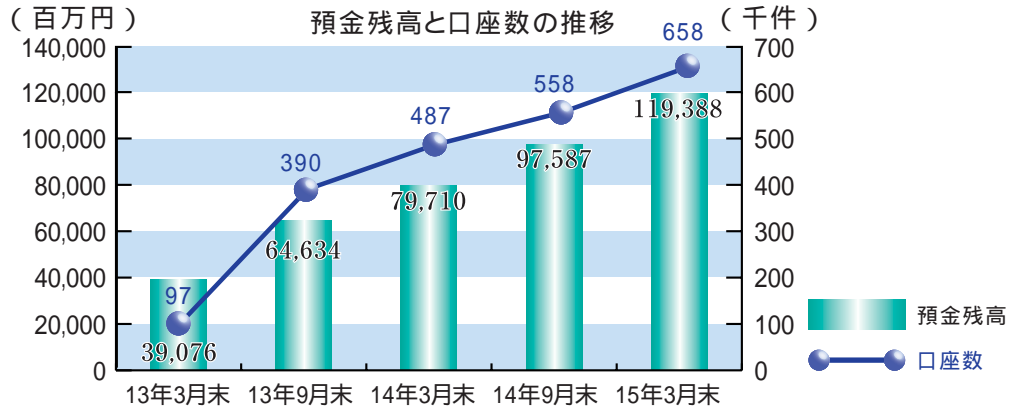


預金残高と口座数の推移



損益の状況

当期は、資本金や預金で調達した資金を国債・金融債等で運用することによって確実に収益を上げる一方、利鞘の大きい個人向けローンが積み上がり収益に貢献しました。また、利便性の高いネット決済方法が幅広く認知されたことから、為替手数料による役務取引等収益が引き続き好調に推移しました。一方、必要なシステム関係の設備投資を行うとともに、広告宣伝費等の営業経費を削減いたしました。

これらにより、経常収益は前年度比25億20百万円増加し、40億32百万円となりました。経常費用は、前年度比1億34百万円減少し、67億96百万円となりました。以上の結果、経常損失は27億64百万円、当期損失は27億72百万円となりました。

経常損益の推移

